

# 不登校対策支援をはじめとした 教育相談の充実

## 不登校児童生徒数の推移（H28～R3年度）

年度 \ 学年	小1 (人)	小2 (人)	小3 (人)	小4 (人)	小5 (人)	小6 (人)	中1 (人)	中2 (人)	中3 (人)	不登校 児童数(人)	小学校 不登校率(%)	不登校 生徒数(人)	中学校 不登校率(%)
H28	8	10	14	24	30	28	122	133	161	113	0.54	418	3.81
H29	4	10	16	26	45	31	84	154	137	132	0.63	375	3.47
H30	8	14	14	26	58	56	97	150	162	176	0.83	409	3.89
R元	11	12	17	28	44	72	120	155	169	184	0.89	444	4.29
R2	13	18	23	32	56	64	121	183	171	206	1	475	4.63
R3	12	27	32	42	50	73	161	198	195	236	1.15	554	5.33

不登校の低年齢化

7学年で不登校児童生徒が過去最高の人数

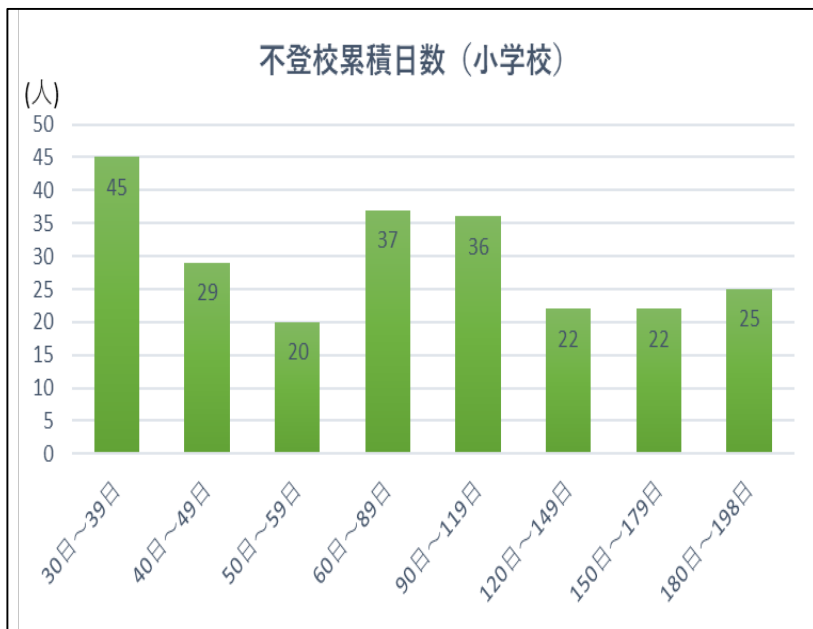
令和4年9月末における不登校の主な要因（教職員からの回答）

不登校の要因	小学校	中学校
無気力、不安	38人	149人
いじめを除く友人関係をめぐる問題	20人	49人
生活リズムの乱れ、あそび、非行	16人	48人
入学、転編入学、進級等の不適応	14人	19人
親子の関わり方	10人	31人
学力の不振	6人	29人

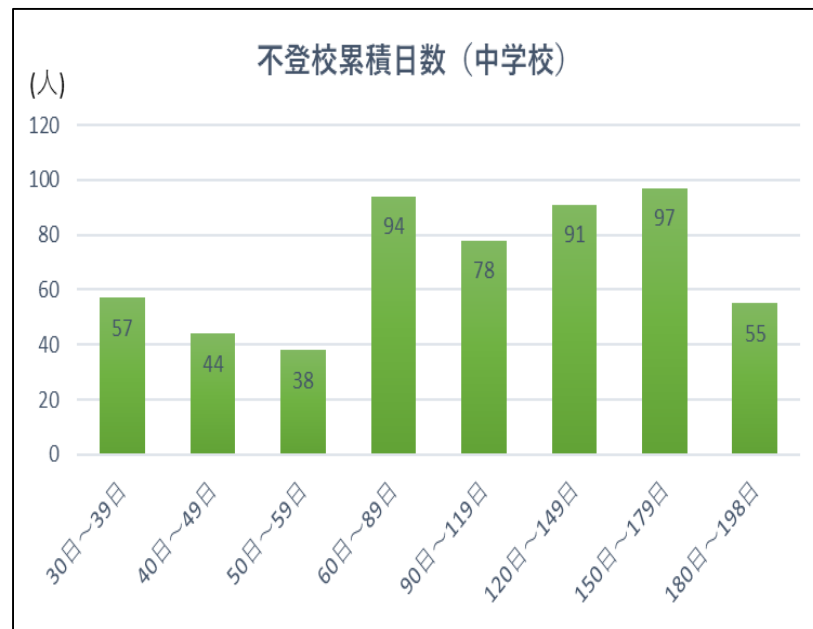
「集団が苦手」  
「大人数のところに入りづらい」

「友達づくりがうまくできない」  
「友達とのかかわり方がわからない」

## 令和3年度 不登校児童生徒の累積欠席日数



初期対応が重要



長期化による支援の難しさ

## 不登校児童生徒への対応のめやす

気になる欠席がある子

保護者へ電話連絡 家庭訪問  
校内で支援を検討

教室に入れなくなってきた子

中学校では校内適応指導教室  
小学校では別室で対応

登校できなくなってきた子

ほっとプラザや  
民間フリースクールなどを活用

併用しながら支援  
その子の状況や様子に合わせて

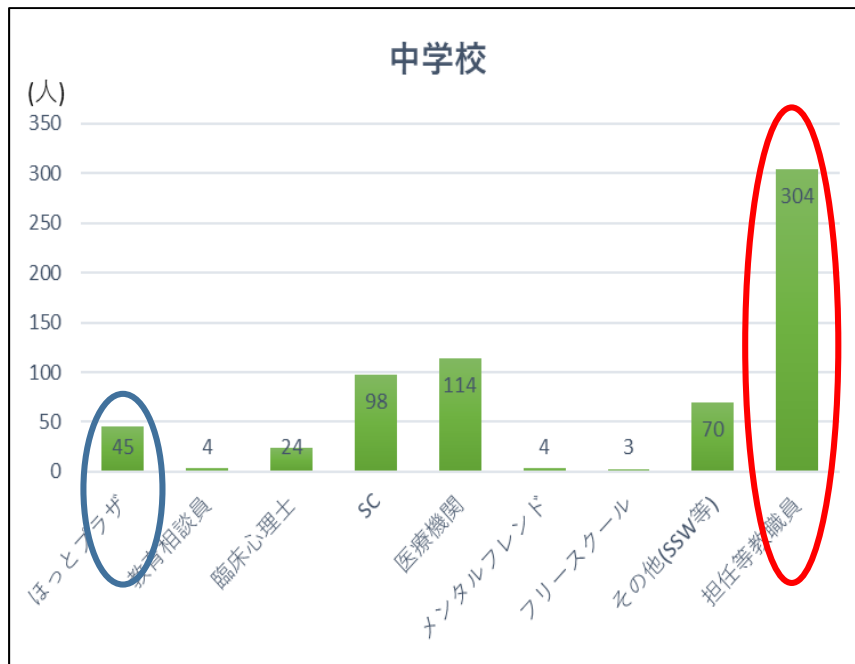
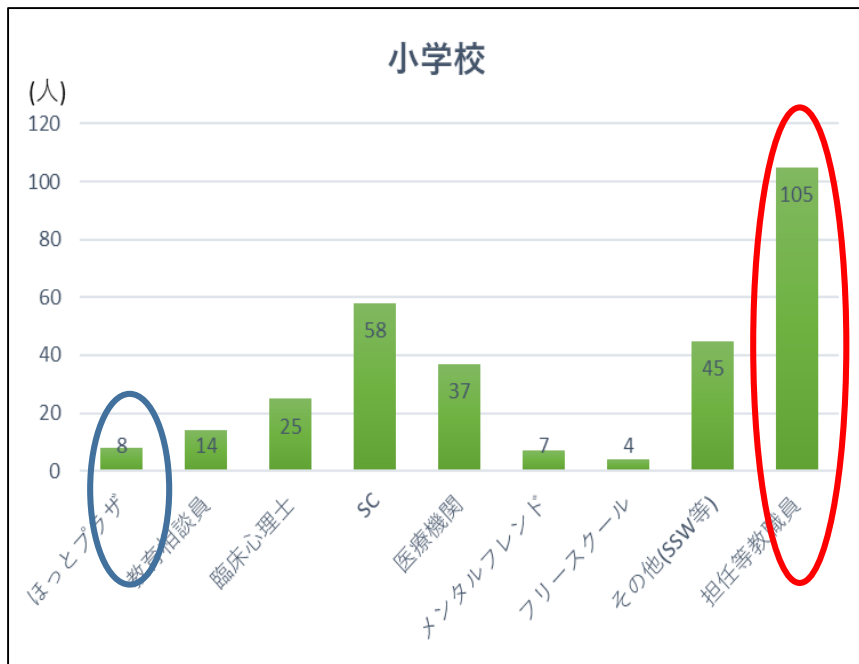
不登校や集団になじめない子への校内での対応について  
(令和4年8月現在)

	小学校	中学校
別室で対応している 児童生徒数 (人)	63人	137人

- ・ 小学校では空き教室や保健室で対応
- ・ 小学校では多くの学校で校務主任が対応

- ・ 中学校では専用の部屋を設けて対応
- ・ 中学校では生活サポート主任や空き時間の教員が対応

# 令和3年度 不登校児童生徒が受けている支援（複数回答）



プラザ入級者は不登校の6.7%

ほとんどが担任等教職員による支援

令和4年度9月末 指導要録上「出席扱い」となっている児童生徒

「出席扱い」の支援・機関	小学校	中学校
学校からのオンライン配信	13	12
ほっとプラザ	10	27
通所型の民間施設	2	10
訪問・ICT活用型の民間事業者	0	1
医療機関のデイケア	3	11
合 計	28	61

多様な学びの場を保障



## 令和3年度 ほっとプラザ入級状況

	プラザ西	プラザ東	プラザ中央	在籍者合計
小学生	3人	1人	4人	8人
中学生	10人	17人	18人	45人



友達のみなどと毎日しゃべったり、活動したりするのが楽しい。

フレンドさんや先生たちが優しい。



受験の過去問題も、苦手だったところもていねいに教えてもらってできるようになりました。

普段見せられない「不真面目な自分」を公共の場に出せる数少ない場所だと思っています。



課題 ①  
初めての場所で、慣れるまで不安。

課題 ②  
知らない場所だから、「どこに連れていかれるのかなあ」と不安だった。



課題 ③  
小学生の子どもがほっとプラザを気に入ったけれど、家から遠いし、車がなくて送り迎えが難しい。

課題 ④  
ほっとプラザへ通級する子どもが増えてきたが、スタッフが足りず、部屋も狭い。

課題 ⑤  
いろいろな学習や体験をさせたいが、施設や設備がない。



## 不登校対策の現状と課題

### < 校内適応指導教室 >

- ・生活サポート主任による  
常時対応が不可能
- ・専用の部屋の不足

### < ほっとプラザ >

- ・「知らない場所」への不安
- ・保護者の送迎の負担
- ・施設、設備の不足

## 対応策

受け入れ先の拡充

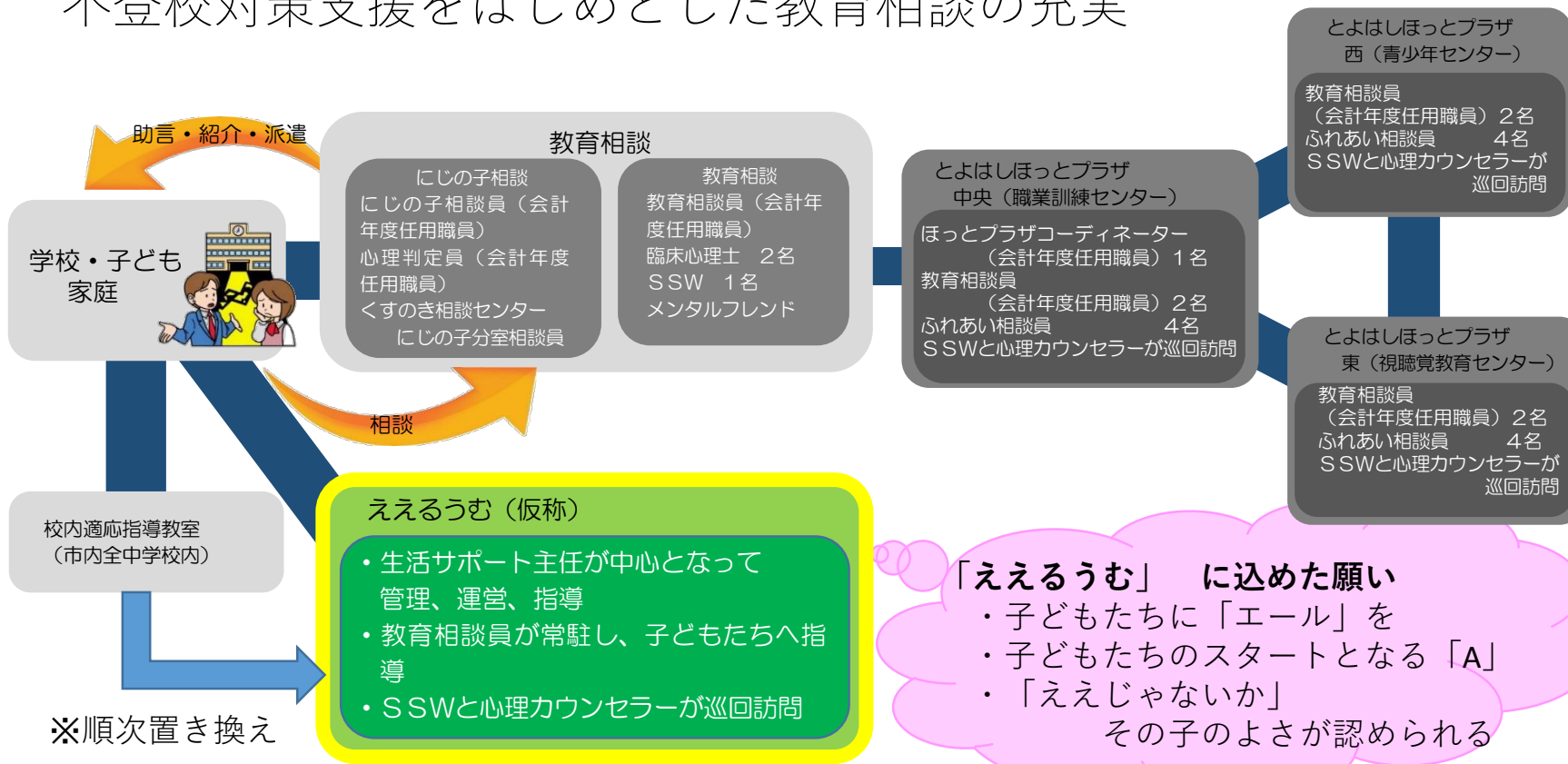
担当者が常駐

通級への不安軽減

送迎の負担軽減

施設、設備の充実

# 不登校対策支援をはじめとした教育相談の充実



## 校内適応指導教室と「ええるうむ（仮称）」の違い

	校内適応指導教室	ええるうむ（仮称）
開設場所	市内全中学校の校内	既存の校内適応指導教室
指導者	生活サポート主任（授業を受けもちながら） 空き時間の教員	教育相談員（常駐） 生活サポート主任（コーディネート）
対象の児童生徒	・その中学校に在籍する生徒	・開設した中学校生徒 ・隣接する中学校生徒 ・ならびにその学区の小学校児童 (状況によりその他の受け入れも可)
活動内容	・教科の学習 ・オンライン授業の視聴	・児童生徒本人の意思や興味関心により、 各自で計画した活動 (授業やオンラインで授業を受けることも含む) ・教室に入れない子への学習支援

通級への不安軽減

担当者が常駐

受け入れ先の拡充

送迎の負担軽減

子どもの自主性に  
合わせた活動

その子らしさを認め、受け入れ

意欲を引き出す

一人一人に合った

人とあたたかいかわりができる居場所を  
広げていく